



- 利用者番号と各システムのパスワードを入力。  
※ここで入力するパスワードは普段各システムにログインする際のもので、初期パスワードではありませんので御注意下さい。

- 持っている支払コードが表示されるので、標準にする支払コードを選択。

```
acct  course      budget      fare      balance  cpu_used (HH:MM:SS)
A     10000      1000000    10000     990000   0:00:00
C     3000       500000    3000      497000   0:00:00
```

Your current account code is A.

Specify new account code [default : A] (or quit) : C

Specified Account code is C. Is it ok? [default : y] : y

とすると、次に当月分と翌月分の長期保存ファイルの課金額が表示されますので、良ければ y を入力して下さい。

バッチジョブ投入時の指定方法（当該ジョブのみ有効）

- qsub コマンド実行時、オプションで「-AC 支払コード」を指定する。

```
qsub -AC B test.csh
```

- バッチジョブスクリプトに「#@\$-AC 支払コード」を指定する。

```
#@$-q parallel
```

```
#@$-AC B
```

```
:
```

標準支払コードの変更・・・m-vos の場合

m-vos にログオンし、TRCH コマンドで設定。( ) 内に変更する支払コードを入力する。

```
>> TRCH ATTR, OAC(B)
```

```
JDT201321 CHANGE USERATTRIBUTE PROCESSED
```

ログオン時に支払コードを指定（そのセッションのみ有効）

ログオン時、利用者番号の後に A(支払コード)を付けてログオンする

```
LOGON SCALARF
```

```
JET12012A ENTER USERID -
```

```
R30000 A(B)
```

## 課金

本センターのスーパーコンピュータの利用によって発生する課金と契機は次のとおりです。

### 1. 基本負担金

SR8000/MPP は基本負担金制になっており、利用できる計算リソースの範囲に応じて月々1,500 円、3,000 円、10,000 円の3つのコースがあります。利用登録時、毎月初めのサービス日に課金しています。コース変更は大型計算機システム届出書を本センター受付に提出して下さい。なお、コース変更は月途中ではできませんので、変更後のコースは翌月からとなります。

### 2. CPU 課金

CPU 課金は利用した CPU 時間について課金します。但し mpp-p はログインしているだけで1 ノードを占有するため、CPU を使っていないだけでも課金が発生します。ログイン時間（経過時間）の8 倍を CPU 時間とみなして課金しますので、御利用の際は御注意下さい。また、バッチジョブのうち、ノードを占有するジョブクラス（P001～P128、A-ES～F-ES 等）についても、ジョブ実行時間（経過時間）のノード数倍の8 倍を CPU 時間とみなして課金します。なお、mpp-s, p の CPU 課金は1 時間に1 度行いますが、mpp-bt で実行しているバッチジョブは、ジョブが終了した時点で課金が発生します。そのため、月をまたいでジョブを実行していた場合、実行を開始した月ではなく、翌月に課金することになります。

### 3. ファイル課金

#### 1. 長期保存ファイル (/home)

利用登録時、又はファイル増量時に月末までの日割り分を、毎月初めのサービス日（休日の場合は翌日）には1 か月分を課金します。支払コードを複数持ち、コースが異なる場合は容量の大きいコースの設定を適用して、課金処理時点の標準支払コードから課金します。毎月一定額を課金しますので必要以上に容量を多く設定しますと、気付かないうちに予算オーバーになりますので注意して下さい。容量の変更は newuser 手続きで行います。誤った設定をしないようメッセージは注意深く確認して下さい。

なお、長期保存ファイルの減量、及び標準支払コードの変更（CPU 課金、短期保存ファイル課金は除く）は翌月からの適用となりますが、newuser 手続きを月の変わる時刻の直前に行いますと処理が間に合わず翌々月の適用となることがあります。そのため、手続きは余裕を持って行って下さい。

## 2. 短期保存ファイル (/short)

毎日/short のディスク使用量をチェックし、5 円 / (月・MB) の単価で日割り計算 (30 日) した額 (1 円未満切り上げ) を標準支払コードから課金しています。/short に保存されているファイルは作成日の翌日から数えて 16 日目に消去されますが、あまり大きなファイルを置き続けていると徐々に課金がかかり、大きさによってはディスク資源を圧迫させる事にもなりかねないので、不要なファイルは消去するようお願いします。

## 4. プリンター出力課金

本センター入出力室に設置してあるプリンターで出力後、1 日 1 回課金されます。SR8000/MPP から出力した場合でも m-unix の標準支払コードを用いて課金しますので御注意下さい。

## 5. 各区分共通負担金

月末時にひと月の 1~4 の合計額に 100 分の 5 を乗じた額を課金します。

## 注意

課金情報は la コマンド (m-vos については LA または TRL URSLT) で確認してください。但し、SR8000/MPP の la コマンドで表示される課金情報の更新は 1 日 1 回のため、CPU やファイル課金の反映については実際の課金と多少の差が出る場合があります。

### • UNIX の場合 (mpp-s、m-unix)

la のみだと標準支払コードの情報が表示され、-a オプションを付けると、持っている全ての支払コードの情報を表示します。標準支払コードには「\*」が付きます。課金額は年度の累計、CPU 時間は当該月の分が表示されます。

```
% la -a
budget data for r30000 at Apr 1 00:00:00 2003
  acct   course   budget   fare     balance   cpu_used(HH:MM:SS)
  A      10000   1000000  10000    990000    0:00:00
  *C     3000    500000   3000     497000    0:00:00
```

### • m-vos の場合

LA または TRL URSLT を使用します。

```
>> LA          . . . 全て表示
```

USERID	ACT	FLAG	RESULT (YEN)	BUDGET (YEN)	COURSE	USED-CPU
R30000	A	00	10,000	1,000,000	3	4

C	00	3,000	500,000	2	3
LD-USED (KB)	LD-LIMIT (KB)	SD-USED (KB)	SD-LIMIT (KB)		
58	102,400	0	102,400		

>> TRL URSLT . . . 標準支払コードのみ

USER NAME ----- R30000

BUDGET OPTION --- DSMG , BGTMG

BUDGET FLAG - 00 BUDGET - 0(0) JOB-COUNT 1(50)

NON-TEMP DS 0(9999999) NO. OF NON-TEMP DS ----- 0(30000)

ATTR-1 DS - 0(102400) ATTR-2 DS --- 0(102400)

NO. OF BACKUP DS ----- 0(0) LAST UPDATE DATE ----- 03-04-01

LAST UPDATE TIME ----- 00:00:00 NON-TEMP (JOB) 0(2147483647)

VIO DS (JOB) - 0(1000) NON-VIO (JOB) ----- 0(30000)

--- ACCOUNT NUMBER --- BUDGET ----- RESULT ----- FLAG ---

A	1000000	10000	00
---	---------	-------	----

JDT22101I LIST USERRESULT PROCESSED

複数の支払コードを持っていて、標準支払コードを取り消す場合は、前もって newuser 手続きで標準支払コードの変更を行っておいて下さい。取り消し処理日までに変更されていない場合は自動的に他の支払コードを標準支払コードに設定しますので、御承知置き下さい。